

2020年度入学試験問題

世界史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、マーク解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄にマークしてください。解答欄以外にマークすると無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. 解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。

I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(24点)

前6世紀のなかば、アケメネス朝ペルシアが成立した。アケメネス朝はエジプトを併合し、^①エーゲ海北岸からインダス川流域に至る大帝国となったが、前5世紀はじめ、アケメネス朝の支配下にあったイオニア地方のギリシア植民市が、ミレトスを中心に反乱をおこした。これをアテネが支援したために、ペルシアはアテネに遠征軍を送り、^②ペルシア戦争が始まった。

アテネの重装歩兵軍は、前490年のマラトンの戦いでペルシア軍をうちやぶった。前480年には、サラミスの海戦でペルシア艦隊をやぶり、翌年のプラタイアの戦いでアテネ・スパルタを中心とするギリシア連合軍が勝利し、ペルシア軍をギリシア本土から撃退した。マラトンの戦いやサラミスの海戦に従軍した(A)は、アテネの三大悲劇詩人の一人で、その代表作は『アガ멤ノン』である。

エーゲ海周辺の多数のポリスは、アケメネス朝ペルシアの再侵攻にそなえてデロス同盟を結成し、アテネがその盟主となった。アテネでは、前5世紀のなかば、ペリクレスの指導下で直接民主政が実現した。^③ペリクレスは演説で市民を魅了し、アテネ全盛期の政治家となった。この頃、市民の政治参加が広がったが、その一方で弁論術を教えるソフィストが多数あらわれた。^④これに対して、ソクラテスは真理の絶対性を主張し、プラトンはイデア論に基づいた理想主義哲学を説いた。アリストテレスは、ギリシアの学問体系を集大成し、のちのイスラームの学問やヨーロッパのスコラ学に大きな影響を与えた。^⑤

前5世紀後半になると、デロス同盟を率いるアテネの勢力拡大に対して、スパルタの反発が強まり、ギリシアを二分するペロポネソス戦争が始まった。^⑥ペロポネソス戦争は27年間続き、スパルタが勝利して、一時ギリシアを制覇したが、そのスパルタもテーベに敗れ、その後ポリスどうしの争いが続くことになる。このペロポネソス戦争の歴史を記述したのが(B)であった。

前4世紀後半には、ギリシア北方のマケドニアがフィリッポス2世のもとで軍勢力を強め、前338年、マケドニアはカイロネイアの戦いでアテネ・テーベの連合軍をやぶった。フィリッポス2世の子アレクサンドロスは、ペルシア戦争への報復を名目としてマケドニア・ギリシア連合軍を率いて、前334年に東方遠征に出発した。前330

年にアケメネス朝ペルシアを滅ぼしたが、アレクサンドロスはさらに軍を進め、エジプトからインダス川流域にまで広がる大帝国を築いた。

しかし、アレクサンドロスの死後、その領土をめぐって争いがおこり、その結果、アンティゴノス朝マケドニア、⑦ プトレマイオス朝エジプト、セレウコス朝シリアなどに分裂した。エジプトの（ C ）は地中海、紅海、インド洋をむすぶ貿易や学問の中心として栄え、ムセイオンが設けられ、自然科学がさかんに研究された。例えば、アルキメデスは比重の原理を発見し、（ D ）は地球を球形と考え、地球の周囲をほぼ正確な数値で計測した。この頃の文化は⑧ ヘレニズム文化とよばれている。

【設問 I】 上記の文章の A～D についての問に答えなさい。

問 1 （ A ）にあてはまる人物を一人選びなさい。

- a アイスキュロス
- b ソフォクレス
- c エウリピデス
- d アリストファネス

問 2 （ B ）にあてはまる人物を一人選びなさい。

- a タキトゥス
- b トウキディデス
- c ヘロドトス
- d プルタルコス

問 3 （ C ）にあてはまる都市を一つ選びなさい。

- a カイロ
- b アレクサンドリア
- c メンフィス
- d テーベ

問4 (D) にあてはまる人物を一人選びなさい。

- a アリスタルコス
- b プラクシテレス
- c エウクレイデス
- d エラトステネス

【設問Ⅱ】 下線部について、以下の問に答えなさい。

問1 下線部①のアケメネス朝ペルシアについての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a ゴロアスター教(拝火教)が信仰された。
- b 「王の道」とよばれる公道が整備され、駅伝制が設けられた。
- c ダレイオス3世は、アレクサンドロスの軍隊とイッソスで戦った。
- d キュロス2世は、ペルセポリスの宮殿を建設した。

問2 下線部②のアテネについての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 前7世紀、ドラコンが慣習法を成文化した。
- b 前6世紀のはじめ、ソロンが市民と奴隷の対立の調停にのりだした。
- c 前6世紀なかば、ペイシストラトスが中小農民を保護した。
- d 前6世紀末に指導者となったクレイステネスが陶片追放(オストラキスム)の制度をつくった。

問3 下線部③のペリクレスの時代の直接民主政の説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 軍船の漕ぎ手として活躍した下層市民も国政に参加するようになった。
- b 両親とも市民身分である者が市民であるという市民権法を制定した。
- c 国政の最高機関である民会は、全会一致で政策を決定した。
- d ほとんどの公職は、市民のなかから抽選で選ばれた。

問4 下線部④のソフィストと言われた人物を一人選びなさい。

- a プロタゴラス
- b デモクリトス
- c タレス
- d エウクレイデス

問5 下線部⑤のヨーロッパのスコラ学についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a スコラ学は、キリスト教の教義と信仰を学問的に体系化することを目指した。
- b マキャヴェリが『君主論』を著し、政治を宗教や道徳と切り離して論じた。
- c トマス=アキナスが『神学大全』を著し、スコラ学を大成した。
- d アンセルムスに代表される実在論とウィリアム=オブ=オッカムによって代表される唯名論との間で論争がくり広げられた。

問6 下線部⑥のペロポネソス戦争についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a ペロポネソス戦争は、アテネ中心の同盟とスパルタ中心の同盟との間の戦争である。
- b ペロポネソス戦争の最中に、アテネのペリクレスは病死した。
- c ペロポネソス戦争の最中に、アテネでは衆愚政治が広まった。
- d ペロポネソス戦争では、アテネはアケメネス朝ペルシアの支援を受けた。

問7 下線部⑦のプトレマイオス朝エジプトについての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a この王朝の創始者は、アレクサンドロスの部下の将軍であったプトレマイオスであった。
- b クレオパトラは、プトレマイオス朝エジプトの女王であった。
- c この王朝は、ローマのクラッススによって滅ぼされた。
- d この王朝の滅亡によってヘレニズム時代が終わった。

問 8 下線部⑧のヘレニズム文化についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 世界市民主義（コスモポリタニズム）や個人主義の思想があらわれた。
- b ギリシア文化とオリエント文化が融合し、新たな文化が生まれた。
- c ギリシア美術の様式が西アジア一帯に広がり、日本にも影響を与えた。
- d ラテン語が共通語となった。

II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(24点)

14世紀になるとイタリアの諸都市では富裕な商人が市政をにぎり、ゆたかで活気に満ちた市民生活を背景に、ルネサンスとよばれる文化の革新がおこった。ダンテはイタリアのトスカナ語で『神曲』を書き、(A)はラテン語古典の研究に努めて『叙情詩集』を書いた。また、レオナルド=ダ=ヴィンチやミケランジェロらの個性的で才能ゆたかな芸術家があらわれ、建築や彫刻、絵画などに多くの傑作を残した。

フィレンツェの大商人メディチ家は、その莫大な資産を背景に多くの芸術家を保護育成した。サンタ=マリア大聖堂のドームを設計した(B)もその一人である。しかし、16世紀のイタリアは、イタリア戦争による外国軍の度重なる侵攻を受けたために、ルネサンスの中心は他の西ヨーロッパ諸国に移った。

16世紀には、ローマ教皇を批判する動きが高まり、宗教改革がおこった。すでに14世紀から、教皇を頂点とするローマ=カトリック教会と聖職者の腐敗に対する批判②は強まっていたが、本格的な宗教改革はドイツで始まった。教皇レオ10世は、サン=ピエトロ大聖堂の建築資金を集めるために贖宥状を発行し、これがドイツでさかんに売られた。これに対し、ヴィッテンベルク大学の神学教授マルティン=ルターは、1517年に「95か条の論題」を発表し、福音の信仰によってのみ人は救われると主張して、贖宥状を批判した。ルターの考えは活版印刷③を利用したパンフレットなどによって広まり、大きな反響をよんだ。スイスのチューリヒでは、ツヴィングリが贖宥状の販売を批判した。その後、フランス人のカルヴァン④がジュネーブに招かれ、改革運動に着手した。

ルターは教皇レオ10世から破門され、1521年には神聖ローマ皇帝カール5世⑤にヴォルムスの帝国議会によび出され、考えの撤回を求められた。これを拒否したルターは異端とされ、神聖ローマ帝国からの追放処分を受けた。しかし、ルターは、ザクセン選帝侯フリードリヒに保護され、『新約聖書』のドイツ語訳を完成した。このドイツ語訳『新約聖書』は近代ドイツ語の発展に貢献することになった。

ルターの考えに刺激されて、ドイツ中南部の農民は、1524年に大規模な農民戦争をおこした。ルターは、はじめは農民に同情的であったが、農民たちが(C)の指導のもとで領主制の廃止などの社会変革をめざすと、これを激しく非難した。

皇帝カール5世は、イタリア戦争への対処やオスマン帝国の脅威に直面している間は、ルター派の信仰を認めていたが、これらの危機がやわらぐと、1529年にふたたびルター派の布教を禁止した。ルター派の諸侯や都市はこれに抗議したため、ルター派はプロテスタント（抗議する人）とよばれた。プロテスタントはシュマルカルデン同盟を結成して皇帝と争ったが、1555年のアウクスブルクの和議で妥協が成立した。諸侯と都市はカトリックかルター派のいずれかの信仰を選択する権利が与えられたが、個人の信仰の自由は認められなかった。

カトリック教会も、16世紀なかばからスペインとイタリアを中心に自己改革の運動を始めた。1545年からひらかれた（D）公会議^⑦では、教皇の至上権とカトリックの教義を再確認した。スペインのイグナティウス＝ロヨラらが創設したイエズス会は、カトリックの布教活動の主力となり、その布教活動はアジアにも及んだ。日本に来航したフランシスコ＝ザビエルや、中国で布教したマテオ＝リッチもイエズス会の一員であった。^⑧

【設問I】 上記の文章のA～Dについての問に答えなさい。

問1 （A）にあてはまる人物を一人選びなさい。

- a ボッカチオ
- b エラスムス
- c ペトラルカ
- d ラブレール

問2 （B）にあてはまる人物を一人選びなさい。

- a ドナテルロ
- b ブラマンテ
- c ラファエロ
- d ブルネレスキ

問3 (C) にあてはまる人物を一人選びなさい。

- a ジョン=ボール
- b ミュンツァー
- c ジャックリー
- d ワット=タイラー

問4 (D) にあてはまる都市を一つ選びなさい。

- a トリエント
- b コンスタンツ
- c エフェソス
- d ニケーア

【設問Ⅱ】 下線部について、以下の問に答えなさい。

問1 下線部①のイタリア戦争は、ある国の軍隊が15世紀末にイタリアに侵入してきたことから始まった。その国を一つ選びなさい。

- a スペイン
- b イギリス
- c フランス
- d オスマン帝国

問2 下線部②について、14世紀以降になされたローマ=カトリック教会に対する批判と、それに対するローマ=カトリック教会の反応についての説明として、正しいものを一つ選びなさい。

- a ウィクリフは聖書を中心とする信仰を唱え、ローマ=カトリック教会はその教えから離れていると批判した。
- b ローマ=カトリック教会は、フスを異端として火刑に処し、フス派の抵抗を終わらせた。
- c クリュニー修道院は、聖職者の腐敗、墮落を正すために改革運動をおこなうべきと主張した。
- d グレゴリウス7世が教皇になり、批判を一部受け入れて、教会全体の改革を実施した。

問3 下線部③の活版印刷についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 活版印刷術は、グーテンベルクによって改良、実用化された。
- b 活版印刷術は、製紙法、火薬とともにルネサンスの三大発明といわれている。
- c 活版印刷術の普及は、単一の標準的な国語の成立を促した。
- d 活版印刷術の改良・普及によって、書物の製作は安価になった。

問4 下線部④のカルヴァンについての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a カルヴァンは福音主義を主張し、『キリスト教綱要』を出版した。
- b カルヴァンは、司教制度を廃止して、長老制を導入した。
- c カルヴァンは、人が救われるかどうかは全能の神によってあらかじめ定められていることを説いた。
- d カルヴァンの考えは西ヨーロッパに広まり、オランダのカルヴァン派はユグノーとよばれた。

問5 下線部⑤の神聖ローマ皇帝カール5世についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a カール5世は、スペイン王としてはカルロス1世であった。
- b カール5世は、シャルル8世をおさえて神聖ローマ皇帝に選ばれた。
- c カール5世は、神聖ローマ皇帝に選ばれるとき、ローマ教皇に反対された。
- d カール5世は、フランソワ1世との覇権争いの中で、ローマに軍を侵攻させた。

問6 下線部⑥のオスマン帝国がカール5世と争っていたときの説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a スレイマン1世は、サファヴィー朝からイラクを奪った。
- b スレイマン1世は、第一次ウィーン包囲をおこなった。
- c スレイマン1世は、コンスタンティノープルを攻略して、ビザンツ帝国を滅ぼした。
- d スレイマン1世は、ハンガリーを征服した。

問7 下線部⑦のスペインの16世紀の出来事についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a フェリペ2世はポルトガルの王位を兼ねた。
- b 独立を求めるネーデルラント諸州との間で戦争となった。
- c ピサロがペルーのインカ帝国を征服した。
- d レパントの海戦でオスマン帝国の海軍に敗れた。

問8 下線部⑧のマテオ=リッチについての説明として、正しいものを一つ選びなさい。

- a 世界地図『坤輿万国全図』を作成した。
- b 実測地図『皇輿全覧図』を作成した。
- c バロック・中国様式を組み合わせた円明園を設計した。
- d 暦法書『崇禎暦書』を作成した。

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(26点)

18世紀に入ると、イギリス東インド会社がしだいにインドにおける支配権を樹立していった。^①イギリス東インド会社は、イギリス本国から通商上の特権を与えられ、やがて貿易会社ではなく統治機関となっていった。19世紀になると、インドでは税負担の増加による経済的疲弊がすすみ、イギリス支配に対する不満が高まった。

1857年、イギリス東インド会社のインド人傭兵(シパーヒー)の反乱がおこった。反乱は急速に広まり、失業した手工業者、貧しい農民、土地を奪われた藩王などが加わり、反乱軍は首都デリーに進軍してムガル皇帝を擁立し、イギリスに宣戦布告した。イギリスは、この反乱を鎮圧するのに2年を要したが、ムガル皇帝を廃して、ムガル帝国を滅ぼした。反乱後、イギリスの支配体制は大きく変化した。東インド会社を解散させて、インドを本国の直接統治下においた。1877年には、ヴィクトリア女王がインド皇帝を兼ねる^②イギリス領インド帝国を成立させた。^③

イギリスは、東南アジアに対する支配も強めた。インドから中国に至る航路の中継点として、マラッカ海峡にペナン、シンガポールを獲得した。さらに、マレー半島南部のマラヤと北ボルネオを領有した。マレー半島では20世紀初頭からは(A)のプランテーションが発展し、インド人が労働力として導入された。

ベトナムでは、1802年に(B)が全土を統一し、都をフエに定めたが、19世紀なかばになると、フランスはカトリック教徒への迫害を口実に軍事介入をおこない、南部のサイゴン一帯を占領した。フランスはさらに北部に進出し、ベトナム全土を支配しようとした。これに対し、清朝がベトナムの宗主権を主張し、1884年に清仏戦争が勃発した。^④その結果、清朝はやぶれ、フランスのベトナムに対する保護権を認め、^⑤1887年には、フランスはベトナムとカンボジアをあわせてフランス領インドシナ連邦を成立させた。

ジャワ島では、オランダが大規模反乱(ジャワ戦争)の鎮圧などのために財政難となり、1830年に強制栽培制度(政府栽培制度)を導入して莫大な利益をあげた。オランダは、^⑥20世紀初めまでに、ほぼ現在のインドネシアに至る地域を植民地化した。

シャム(タイ)では、1782年にバンコクを都とするラタナコーシン朝が成立し、ビルマの侵攻を退け、現在のタイの領域全域に支配を広げた。シャムは、1855年に

(C) との間で修好通商条約 (バウリング条約) を結ぶなど不平等条約の締結を強制された。1880 年代, ラーマ 5 世 (チュラロンコン大王) のもとでヨーロッパの制度, 技術をとり入れ, 政治・財政・教育の改革をおこなう近代化政策をすすめた。

日本では, 明治政府が対外進出をすすめながら, 積極的に欧米の産業・文化を吸収し, 条約改正問題にとりくんだ。国会開設などを要求した自由民権運動が各地でおこるが, 政府はこれをおさえ, 大日本帝国憲法を 1889 年に制定するとともに, 1890 年に帝国議会を開設して, 近代国家としての体制をととのえた。

朝鮮では, 1894 年に (D) を指導者とする甲午農民戦争が^⑧おこり, 鎮圧に苦しんだ朝鮮政府は清に派兵を要請し, 日本も居留民保護などの名目で出兵した。朝鮮の農民軍は朝鮮政府と和議を結んだが, 清国と日本は撤兵せず, 同年, 日清戦争がはじまった。日清戦争は日本の勝利で終わり, 1895 年に下関条約が^⑨結ばれた。

【設問 I】 上記の文章の A～D についての間に答えなさい。

問 1 (A) にあてはまる農作物を一つ選びなさい。

- a バナナ
- b ゴム
- c カカオ
- d 綿花

問 2 (B) にあてはまるベトナムの王朝を一つ選びなさい。

- a 李朝
- b 陳朝
- c 黎朝
- d 阮朝

問3 (C) にあてはまる国を一つ選びなさい。

- a スペイン
- b フランス
- c イギリス
- d ポルトガル

問4 (D) にあてはまる人物を一人選びなさい。

- a 李舜臣
- b 金玉均
- c 安重根
- d 全瑛準

【設問Ⅱ】 下線部について、以下の問に答えなさい。

問1 下線部①のイギリス東インド会社の拠点ではなかった都市を一つ選びなさい。

- a マドラス
- b ボンベイ
- c カルカッタ
- d ポンディシエリ

問2 下線部②のムガル帝国についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a ムガル帝国のムガルの名はモンゴルに由来する。
- b バーブルが、デリーを占領してムガル帝国を建てた。
- c ムガル帝国の第3代皇帝アクバルは、ヒンドゥー教徒を弾圧した。
- d ムガル帝国の代表的建築物の一つがタージ=マハルである。

問3 下線部③のヴィクトリア女王の時代のイギリスについての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 「王は君臨すれども統治せず」というイギリス政治の伝統が生まれた。
- b ロンドン万国博覧会が開催された。
- c 保守党、自由党の二大政党による議会政治が定着した。
- d スエズ運河株式会社の株を買収した。

問4 下線部④のイギリス領インド帝国についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a カーストの対立をなくす改革がなされた。
- b 総督・州知事・県知事はイギリス人が独占した。
- c インド人の官僚を育成するために、英語で教育する大学が設立された。
- d イギリスの資本によって電信、鉄道などが整備された。

問5 下線部⑤の清仏戦争がおこったときのフランスは第三共和政であったが、第三共和政の時代についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 露仏同盟や英仏協商を結んでドイツに対抗した。
- b 冤罪事件であったドレフユス事件がおこった。
- c クリミア戦争をはじめ積極的な対外政策を展開した。
- d 労働組合のゼネストによって社会革命をめざすサンディカリズムがあらわれた。

問6 下線部⑥の強制裁培制度についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 強制裁培制度のもとで、ジャワ島ではコーヒー、サトウキビなどのプランテーションがつけられた。
- b 強制裁培制度によって、ジャワ島の農村では飢饉がほとんどなくなった。
- c 強制裁培制度によって、ジャワ島では、経済発展のないまま人口が増加した。
- d 強制裁培制度は、1860年代以降、商品の国際競争力の喪失によって撤廃されていった。

問7 下線部⑦の明治政府がすすめた対外進出の記述について、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 台湾に出兵した。
- b 強引な手法で朝鮮を開国させた。
- c 琉球を領有し、沖縄県をおいた。
- d 樺太の領有をロシアに認めさせた。

問8 下線部⑧の甲午農民戦争は、他にどのようなよばれたか、正しいものを一つ選びなさい。

- a 甲申政変
- b 壬午軍乱
- c 東学の乱
- d 義兵闘争

問9 下線部⑨の下関条約の内容として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 清は、遼東半島、台湾、澎湖諸島を割譲した。
- b 清は、釜山、仁川、元山の3港を開港した。
- c 清は、朝鮮の独立を認め、朝鮮に対する宗主権を放棄した。
- d 清は、中国の開港場で日本人が企業を営営することを認めた。

IV 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(26点)

第二次世界大戦のさなかから、戦後世界の構想についての動きが活発となっていた。1941年8月、アメリカ大統領ローズヴェルトとイギリス首相チャーチルは、大西洋憲章を発表して、戦後の平和構想を明らかにした。その後、数度にわたって連合国の首脳会談が開催され、戦争終結と戦後世界の構想をめぐる議論がなされた。

1943年11月、ローズヴェルト、チャーチル、(A) はカイロ会談をひらき、対日処理方針を決めたカイロ宣言を発表した。ついで同月末にひらかれたテヘラン会談^①では、連合軍の北フランス上陸作戦が協議された。これに基づいて1944年6月、連合軍がノルマンディーに上陸し、8月にパリを解放した。ソ連軍も東からドイツに迫り、ドイツの敗北は濃厚になった。1945年2月、ヤルタ会談をひらき、戦後処理^②を話し合った。ドイツは5月にベルリンが陥落し、無条件降伏した。

1945年7月、アメリカ、イギリス、ソ連の3国の首脳は(B) 郊外のポツダムで会談をひらき、ヨーロッパの戦後処理について協定するとともに、ポツダム宣言を出して日本に無条件降伏を求めた。しかし、日本はポツダム宣言をすぐに受け入れず、本土決戦を国民に訴えた。アメリカは8月6日広島、9日に長崎に原子爆弾を投下した。8月14日、日本はポツダム宣言を受諾し、連合国に降伏した。こうして、人類史上最大の犠牲をはらった第二次世界大戦は終結した。第二次世界大戦は膨大な^③数の死傷者をもたらした。

国際連盟に代わる国際機関をつくる動きは、戦争中にもすすみ、1945年6月に国際連合憲章が採択され、10月に51か国を原加盟国として国際連合が発足した。^④しかし、戦後世界に大きな力を持ったのは、アメリカとソ連であった。戦争中は連合国の中心として協力したが、戦後はアメリカを中心とする資本主義圏とソ連を中心とする社会主義圏の対立が深まった。

この「冷戦」^⑤の中で、核兵器の開発競争もおこなわれた。核兵器を運ぶ長距離ミサイルの開発もすすみ、アメリカもソ連も核弾頭をつけた大陸間弾道弾(ICBM)を開発し、配備した。1962年にソ連がキューバにミサイル基地を建設すると、アメリカがキューバを海上封鎖するというキューバ危機が^⑥おこり、核戦争の危機がせまった。一触即発の危機は回避され、1963年にアメリカ、ソ連、(C) の3国間で部分的

核実験禁止条約 (PTBT) が調印され、核軍縮がなされた。1968 年には、62 か国が核拡散防止条約 (NPT) に調印し、1969 年からアメリカ、ソ連間で第 1 次戦略兵器制限交渉 (SALT I) がはじまり緊張緩和 (デタント) が進展した。

しかし、1979 年にソ連が (D) に侵攻すると、アメリカはレーガン大統領が「強いアメリカ」を掲げて軍備を拡張し、冷戦の新たな段階「新冷戦」がはじまった。1980 年代のソ連は東欧諸国の中心として、核開発の分野でアメリカに対抗した。アメリカもソ連も、ともに中距離核戦力をヨーロッパに配備したために緊張は高まった。ヨーロッパ各地で活発な反核運動の高揚をよび、1987 年にアメリカ、ソ連によって中距離核戦力 (INF) 全廃条約が調印された。しかし、2019 年 2 月、アメリカとロシアは中距離核戦力 (INF) 全廃条約からの離脱を発表し、核軍縮問題は新たな局面を迎えている。

【設問 I】 上記の文章の A～D についての間に答えなさい。

問 1 (A) にあてはまる人物を一人選びなさい。

- a ド=ゴール
- b 蒋介石
- c スターリン
- d テイトー

問 2 (B) にあてはまる都市を一つ選びなさい。

- a パリ
- b ロンドン
- c ベルリン
- d ニューヨーク

問3 (C) にあてはまる国を一つ選びなさい。

- a 日本
- b 中国
- c フランス
- d イギリス

問4 (D) にあてはまる国を一つ選びなさい。

- a アフガニスタン
- b クウェート
- c イラク
- d チェコスロバキア

【設問Ⅱ】 下線部について、以下の問に答えなさい。

問1 下線部①のテヘラン会談に参加した国の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

- a アメリカ, 中国, ソ連
- b アメリカ, フランス, ソ連
- c アメリカ, イギリス, ソ連
- d アメリカ, イギリス, フランス

問2 下線部②のヤルタ会談についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a ドイツや東欧の戦後処理を決めた。
- b 満州, 台湾, 澎湖諸島の中国返還を決めた。
- c 南樺太・千島列島のソ連帰属を決めた。
- d ソ連の対日参戦を決めた。

問3 下線部③について、以下の国の中で第二次世界大戦の死傷者がもっとも多かった国を一つ選びなさい。

- a イギリス
- b 日本
- c ソ連
- d ドイツ

問4 下線部④の国際連合憲章についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 国際連合憲章の原案はワシントン郊外のダンバートン=オークス会議で協議された。
- b 国際連合憲章は、連合側 50 か国によって開催されたサンフランシスコ会議で採択された。
- c 中国（中華民国）は国際連合憲章を協議した会議に参加するなど、国際連合の発足に深く関わった。
- d 国際連合憲章の内容がアメリカ主導で決まっていたため、ソ連は国際連合の発足の時点で参加しなかった。

問5 下線部⑤の「冷戦」についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 1946年、イギリスの前首相チャーチルは「鉄のカーテン」の表現で、「冷戦」を先取りする演説をおこなった。
- b 1947年、アメリカのトルーマン大統領は、ベトナムの共産主義化阻止のために軍事支出をするというトルーマン=ドクトリンを提唱した。
- c 1947年、アメリカのマーシャル国務長官はヨーロッパ経済復興援助計画を発表した。
- d 1947年、ソ連・東欧諸国は各国共産党の情報交換機関としてコミンフォルムを結成した。

問6 下線部⑥のキューバ危機の時のソ連の指導者を一人選びなさい。

- a フルシチョフ
- b ブレジネフ
- c コスイギン
- d ゴルバチョフ

問7 下線部⑦のレーガン政権についての説明として、正しいものを一つ選びなさい。

- a 中国との国交を正常化した。
- b 湾岸戦争を開始した。
- c カリブ海の島国グレナダに軍事介入した。
- d ベトナムから米軍を撤退させた。

問8 下線部⑧の1980年代のソ連についての説明として、正しいものを一つ選びなさい。

- a チェルノブイリ原子力発電所で爆発事故がおこった。
- b バルト三国の独立を承認した。
- c 独立国家共同体（CIS）が創設され、ソ連は解体した。
- d チェチェンに軍事介入した。

問9 下線部⑨の中距離核戦力（INF）全廃条約の前後についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 米ソ首脳が「冷戦」終結宣言をおこなった後、中距離核戦力（INF）全廃条約が締結された。
- b ゴルバチョフがペレストロイカを開始した後、中距離核戦力（INF）全廃条約が締結された。
- c 中距離核戦力（INF）全廃条約の後、米ソが第1次戦略兵器削減条約（START I）に調印した。
- d 中距離核戦力（INF）全廃条約の後、包括的核実験禁止条約（CTBT）が締結されたが、インド、パキスタンが核実験をおこなった。

